

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス																		
対象学科	事務職養成 学科			授業科目	FP実技													
氏 名	牧原 健太郎			授業の方法	講義	単位数	4											
実務経験	有	無	県教育事務職として勤務後、企業にてファイナンシャルプラン業務に従事した。															
対象学年	2 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○								
【授業目標】 ・テキストで得た知識を基に、現実の社会・金融制度についての理解を深める。 ・FP3級及び2級の実際の試験問題に取り組み、概論で得た知識を実践する。																		
【到達目標】 ・公的年金、生命保険、資産運用、税金、不動産、贈与・相続など幅広い知識が体系的に身につく。 ・F P 3 級・2 級技能検定試験に合格できる実力を養う。																		
【授業計画】 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"> 1 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅰ 2 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅱ 3 (学科) リスク管理Ⅰ 4 (学科) リスク管理Ⅱ 5 (学科) 金融資産運用Ⅰ 6 (学科) 金融資産運用Ⅱ 7 (学科) タックスプランニングⅠ 8 (学科) タックスプランニングⅡ 9 (学科) 不動産Ⅰ 10 (学科) 不動産Ⅱ 11 (学科) 相続・事業承継Ⅰ 12 (学科) 相続・事業承継Ⅱ 13 (模擬試験) 学科① 14 (模擬試験) 学科② 15 (模擬試験) 実技③ 16 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅰ 17 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅱ 18 (学科) リスク管理Ⅰ 19 (学科) リスク管理Ⅱ 20 (学科) 金融資産運用Ⅰ 21 (学科) 金融資産運用Ⅱ 22 (学科) タックスプランニングⅠ 23 (学科) タックスプランニングⅡ 24 (学科) 不動産Ⅰ 25 (学科) 不動産Ⅱ 26 (学科) 相続・事業承継Ⅰ 27 (学科) 相続・事業承継Ⅱ 28 (模擬試験) 学科④ 29 (模擬試験) 学科⑤ 30 (模擬試験) 実技 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> 3級 2級 </td> </tr> </table>											1 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅰ 2 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅱ 3 (学科) リスク管理Ⅰ 4 (学科) リスク管理Ⅱ 5 (学科) 金融資産運用Ⅰ 6 (学科) 金融資産運用Ⅱ 7 (学科) タックスプランニングⅠ 8 (学科) タックスプランニングⅡ 9 (学科) 不動産Ⅰ 10 (学科) 不動産Ⅱ 11 (学科) 相続・事業承継Ⅰ 12 (学科) 相続・事業承継Ⅱ 13 (模擬試験) 学科① 14 (模擬試験) 学科② 15 (模擬試験) 実技③ 16 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅰ 17 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅱ 18 (学科) リスク管理Ⅰ 19 (学科) リスク管理Ⅱ 20 (学科) 金融資産運用Ⅰ 21 (学科) 金融資産運用Ⅱ 22 (学科) タックスプランニングⅠ 23 (学科) タックスプランニングⅡ 24 (学科) 不動産Ⅰ 25 (学科) 不動産Ⅱ 26 (学科) 相続・事業承継Ⅰ 27 (学科) 相続・事業承継Ⅱ 28 (模擬試験) 学科④ 29 (模擬試験) 学科⑤ 30 (模擬試験) 実技	3級 2級						
1 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅰ 2 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅱ 3 (学科) リスク管理Ⅰ 4 (学科) リスク管理Ⅱ 5 (学科) 金融資産運用Ⅰ 6 (学科) 金融資産運用Ⅱ 7 (学科) タックスプランニングⅠ 8 (学科) タックスプランニングⅡ 9 (学科) 不動産Ⅰ 10 (学科) 不動産Ⅱ 11 (学科) 相続・事業承継Ⅰ 12 (学科) 相続・事業承継Ⅱ 13 (模擬試験) 学科① 14 (模擬試験) 学科② 15 (模擬試験) 実技③ 16 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅰ 17 (学科) ライフプランニングと資金計画Ⅱ 18 (学科) リスク管理Ⅰ 19 (学科) リスク管理Ⅱ 20 (学科) 金融資産運用Ⅰ 21 (学科) 金融資産運用Ⅱ 22 (学科) タックスプランニングⅠ 23 (学科) タックスプランニングⅡ 24 (学科) 不動産Ⅰ 25 (学科) 不動産Ⅱ 26 (学科) 相続・事業承継Ⅰ 27 (学科) 相続・事業承継Ⅱ 28 (模擬試験) 学科④ 29 (模擬試験) 学科⑤ 30 (模擬試験) 実技	3級 2級																	
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 <table style="width: 100%;"> <tr> <td>① 定期考査</td> <td>40点</td> </tr> <tr> <td>② 出席</td> <td>30点 (30×出席率)</td> </tr> <tr> <td>③ 提出物</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>④ 学習状況</td> <td>20点</td> </tr> </table>											① 定期考査	40点	② 出席	30点 (30×出席率)	③ 提出物	10点	④ 学習状況	20点
① 定期考査	40点																	
② 出席	30点 (30×出席率)																	
③ 提出物	10点																	
④ 学習状況	20点																	
【教科書等】 ・ みんなが欲しかった！FPの教科書 3級・2級 (TAC出版) ・ みんなが欲しかった！FPの問題集 3級・2級 (TAC出版)																		

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス											
対象学科	トラベル観光、まんが・ネットショップ、事務職養成 学科		授業科目	アプリケーション実習Ⅱ							
氏 名	田邊 敬		授業の方法	実習	単位数 4						
実務経験	有 無	長年に渡り高等学校で商業教育に従事した。									
【授業目標】 アプリケーション実習Ⅰの学習を継続し、ソフトウェア技能の幅を広げる。表計算ソフトでは数値を分析して活用するための能力を身に付け、データベースではデータの蓄積や必要なデータが取り出せる能力を身に付けるなどビジネスに必要な技能の基本を習得する。また、問題を解き実力をつけて資格取得を目指す。											
【到達目標】 ・ Excelの操作法を習得して、数値を分析しビジネスに活用できるように表やグラフに編集できる。 ・ Accessの操作法を習得して、データから必要なデータを取り出せ合理的な形で提示ができる。 ・ ソフトウェア技能認定試験の資格を取得する。											
【授業計画】 1 オリエンテーション 科目の目標と計画 2 表計算ソフトの必要性 ビジネスでの利用 ・ Excelを用いてビジネス社会における基礎的なシートの作成とデータの加工について - Excel表計算処理技能認定試験問題集（3級）練習問題1～3 - Excel表計算処理技能認定試験問題集（3級）模擬問題1～7 ・ Excelを用いて実践的な表計算、ビジネス図表に関する処理について - Excel表計算処理技能認定試験問題集（2級）練習問題1～3 - Excel表計算処理技能認定試験問題集（2級）模擬問題1～4 ・ テーマ別知識練習問題1～7 ・ Excel表計算処理技能認定試験 受験 3 データベースソフトの必要性 ビジネスでの利用 ・ Accessを用いてビジネス社会における基礎的なデータベースの作成と加工について - Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集（3級）練習問題1～4 - Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集（3級）模擬問題1～6 ・ Accessを用いて実践的なデータベースに関する処理について - Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集（2級）練習問題1～3 - Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集（2級）模擬問題1～4 ・ テーマ別知識練習問題1～7 ・ Accessビジネスデータベース技能認定試験 受験 4 作業の効率化 ・ Excel VBAを利用した効率化 入門 5 まとめ											
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 <table><tr><td>① 出席</td><td>35 点（35×出席率）</td></tr><tr><td>② 授業作品</td><td>40 点</td></tr><tr><td>③ 学習状況</td><td>25 点</td></tr></table>						① 出席	35 点（35×出席率）	② 授業作品	40 点	③ 学習状況	25 点
① 出席	35 点（35×出席率）										
② 授業作品	40 点										
③ 学習状況	25 点										
【教科書等】 ・ Excel表計算処理技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ 発行） ・ Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集（株式会社サーティファイ 発行）											

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	トラベル観光、まんが・ネットショップ、事務職養成 学科			授業科目	キャリアデザインⅡ					
氏 名	林 則博			授業の方法	講義	単位数	4			
実務経験	有	無	旅行代理店で、添乗、ツアープラン等を職務として勤務し、旅行業界全般に関する実務経験を積んだ。							
対象学年	2 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 キャリア理論に触れながら、社会と自分の関係性を学びつつ「自己理解」を深め、今後の進路選択において自らのキャリアデザインに必要な知識を身につけることができる。										
【到達目標】 キャリア理論に触れながら、キャリア形成に関する基礎知識を獲得する 自身の考えをまとめ、自らの言葉で具体的に表現できる 採用試験の1つであるSPI能力検査の対策を行い、就職試験にのぞむことができる										
【授業計画】 1 個人面談（進路目標・課題設定の把握） 2 働く意義を考究する 3 社会人基礎力を理解する 4 将来の自分を考える（ライフプランとマネープラン） 5 自己理解① 主観的な自分 6 自己理解② 客観的な自分 7 社会を知る① 働く目的 8 社会を知る② 会社のしくみ 9 社会を知る② 職種とは何か 10 社会を知る② 業界とは何か 11 社会を知る③ 今後の社会を考える 12 社会を知る④ HP検索 13 目標設定、行動計画の立案 14 筆記試験対策について 15 第一印象の構成要素 16 言葉遣い、敬語 17 自己PR作成 18 履歴書作成 19 面接トレーニング 20 適職診断 21 目標設定、行動計画の立案② 22 コミュニケーション、報告・連絡・相談 23 礼状等の書き方										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 課題 30点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 30点 ④ 学習状況 10点										
【教科書等】 ・ 大学生のキャリアデザイントレーニング（晃洋書房） ・ SPI基礎からはじめる問題集（実務教育出版） ・ ふりかえり向上手帳（フォーサイト） ・ キャリアノート										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	事務職養成 学科			授業科目	コンピュータ会計					
氏 名	林 靖宏			授業の方法	演習	単位数	4			
実務経験	有	無	保険事務所に勤務後、FP事務所を設立して金融、財務、経理等の実務経験を積んだ。							
対象学年	2 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 弥生会計の演習を元に、帳簿作成の為の仕訳入力方法、残高試算表の作成、試算表作成後の銀行への届出など、実務での流れを確認する。										
【到達目標】 ・ 会計ソフトの入力を証書類から正確に読み取り、月次残高試算表の作成ができる ・ 会計ソフトの入力から作成された残高試算表から会社の状況を読み取ることができる ・ 残高試算表から今後の問題点が読み取ることができる										
【授業計画】 1 企業活動と会計処理 2 // 3 企業の経営活動と経理・財務 4 // 5 // 6 経営情報の活用と作成 7 // 8 // 9 会計ソフトの操作 10 // 11 弥生会計のセットアップ 12 // 13 会計データの入力操作と帳簿の体系 14 // 15 企業の基幹業務と会計処理 16 // 17 基幹業務の内容とビジネス法務 18 // 19 企業の業務システムと会計処理 20 // 21 税金に関する業務と会計処理 22 // 23 会計データの入力処理と集計 24 // 25 証票によるデータ入力 26 // 27 月次決算に関連する業務と会計処理 28 // 29 月次決算処理 30 //										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 課題 30点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 30点 ④ 学習状況 10点										
【教科書等】 ・ コンピュータ会計 【基本】 テキスト（実教出版）										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	トラベル観光、まんが・ネットショップ、事務職養成 学科				授業科目	ビジネス実務				
氏 名	中川 真弓				授業の方法	講義	単位数	4		
実務経験	有 無	パフォーマンスインストラクターとして企業の能力開発を担当し、サービスの意義など、ビジネス実務に必要な実務経験を積んだ。								
対象学年	2 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】										
ビジネス能力の基本・基礎を学び、期待される社会人、職業人を目指し、学生時代に身につけておくべきことを学ぶ。										
【到達目標】										
・会社のルール、身だしなみ、あいさつの仕方、言葉遣いなど社会人としてのマナーをしっかりと身につける。 ・仕事の基本を理解し職場生活にすみやかに適応していくための基礎的な知識やスキルを学ぶ。 ・ビジネス能力検定ジョブパス3級合格										
【授業計画】										
1 キャリアと仕事へのアプローチ 2 会社の基本とルール 3 仕事の基本となる8つの意識 4 コミュニケーションの基本 5 ビジネスマナー（身だしなみ・あいさつ・おじぎ） 6 仕事中の態度と健康管理 7 指示の受け方と報告・連絡・相談 8 ビジネスにふさわしい話し方、聞き方 9 言葉づかい（敬語の種類と必要性） 10 来客対応の基本 11 名刺交換と紹介の仕方 12 訪問の基本マナー 13 会社関係でのつきあい 会食 14 会社関係でのつきあい 冠婚葬祭 15 仕事への取り組み方 定型業務・非定型業務 16 スケジュール管理と情報処理 17 電子メールの活用・書き方 18 ビジネス文書の基本 社内文書 19 ビジネス文書の基本 社外文書 20 電話対応 かけ方 21 電話対応 受け方 22 電話対応 取次ぎ方 携帯電話のマナー 23 統計・データの読み方・まとめ方 24 情報収集とメディアの活用 25 会社を取り巻く環境と経済の基本 26 ビジネス用語の基本 27 ビジネス能力検定ジョブパス対策① 28 ビジネス能力検定ジョブパス対策② 29 ビジネス能力検定ジョブパス模擬試験 30 ビジネス能力検定ジョブパス試験										
【授業評価方法・注意】										
本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】										
・ ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト 2025年版										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	事務職養成 学科			授業科目	工業簿記Ⅱ					
氏 名	川村 裕美			授業の方法	講義	単位数	6			
実務経験	☒ 有 ☐ 無	長年に渡り高等学校で商業教育に従事した。								
対象学年	2 年生	年間授業時数	105 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 日商簿記2級の合格とともに簿記を学ぶことによって製造現場での事務（営業事務、会計事務）としての必要な知識を学習する										
【到達目標】 ・ 日商簿記2級の合格 ・ 製造原価の計算方法 ・ 原価計算から見る利益の構造分析と製品価格の決定方法										
【授業計画】 1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の勘定連絡 3 材料費（Ⅰ） 4 材料費（Ⅱ） 5 労務費（Ⅰ） 6 労務費（Ⅱ） 7 経費 8 個別原価計算（Ⅰ） 9 個別原価計算（Ⅱ） 10 部門別個別原価計算（Ⅰ） 11 部門別個別原価計算（Ⅱ） 12 総合原価計算（Ⅰ） 13 総合原価計算（Ⅱ） 14 総合原価計算（Ⅲ） 15 総合原価計算（Ⅳ） 16 総合原価計算（Ⅴ） 17 財務諸表（Ⅰ） 18 財務諸表（Ⅱ） 19 標準原価計算（Ⅰ） 20 標準原価計算（Ⅱ） 21 標準原価計算（Ⅲ） 22 直接原価計算（Ⅰ） 23 直接原価計算（Ⅱ） 24 直接原価計算（Ⅲ） 25 本社工場会計（Ⅰ） 26 本社工場会計（Ⅱ） 27 検定対策 28 検定対策 29 検定対策 30 検定対策										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ 合格テキスト 日商簿記2級 工業簿記（TAC出版） ・ 本試験問題集 日商簿記2級（TAC出版）										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	事務職養成 学科			授業科目	財務諸表論					
氏 名	鎌田 耕市郎			授業の方法	講義	単位数	4			
実務経験	☒ 有	☐ 無	長年に渡り高等学校で商業教育に従事した。							
対象学年	2 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	☐ ○
【授業目標】 状況に応じて、日本商工会議所主催簿記検定試験2級の学習から、税理士試験科目である財務諸表論の学習に発展させる。既習のものを生かしながら、新たな内容も学習する。										
【到達目標】 ・日本商工会議所主催簿記検定試験2級の合格 ・上記目標が達成されたのち、税理士試験科目のうちの1つである、財務諸表論の知識の習得										
【授業計画】 1 財務諸表論の全体構造、会計公準・会計原則 2 概念フレームワーク 3 財務諸表、計算書類等 4 損益会計総論 5 工事契約会計、税金 6 税効果会計 7 資産会計総論、現金及び預金 8 金融商品会計の概要 9 金銭債権 10 有価証券 11 デリバティブ取引 12 棚卸資産 13 有形固定資産 14 リース会計 15 固定資産の減損会計 16 無形固定資産 17 研究開発費・ソフトウェア、繰延資産 18 負債会計、金銭債務 19 引当金、退職給付会計 20 資産除去債務 21 純資産会計、株主資本 22 新株予約権、分配可能額 23 会計上の変更・誤謬の訂正、外貨換算会計 24 製造業会計 25 企業結合会計、事業分離会計 26 連結財務諸表 27 四半期財務諸表、包括利益計算書 28 キャッシュ・フロー計算書 29 財務諸表等規則 30 収益認識に関する会計基準										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ 合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記（TAC出版） ・ 本試験問題集 日商簿記2級（TAC出版）										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	事務職養成 学科			授業科目	商業簿記Ⅱ					
氏 名	川村 裕美			授業の方法	講義	単位数	6			
実務経験	有	無	長年に渡り高等学校で商業教育に従事した。							
対象学年	2 年生	年間授業時数	105 時間	学 期	前期		後期		通年	○
【授業目標】 日商簿記2級の合格とともに簿記を学ぶことによって会社事務（営業事務、会計事務）としての必要な知識を学習する										
【到達目標】 ・ 日商簿記2級の合格 ・ 上記目標が達成されたのち、経理・総務の知識取得（社会保険、所得税）										
【授業計画】 1 簿記一巡の手続き 2 損益計算書と貸借対照表 3 商品売買 4 現金及び預金 5 債権・債務 6 有価証券 7 有形固定資産 8 リース取引 9 無形固定資産と研究開発費 10 引当金 11 外貨換算会計 12 税金 13 株式の発行 14 剰余金の配当と処分 15 決算手続-1 16 決算手続-2 17 収益・費用の認識基準-1 18 収益・費用の認識基準-2 19 課税所得の算定-1 20 課税所得の算定-2 21 本支店会計-1 22 本支店会計-2 23 合併と事業譲渡-1 24 合併と事業譲渡-2 25 連結会計-1 26 連結会計-2 27 製造業会計-1 28 製造業会計-2 29 検定対策-1 30 検定対策-2										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ 合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記（TAC出版） ・ 本試験問題集 日商簿記2級（TAC出版）										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	事務職養成 学科			授業科目	税法					
氏 名	鎌田 耕市郎			授業の方法	講義	単位数	2			
実務経験	☒ 有	☐ 無	長年に渡り高等学校で商業教育に従事した。							
対象学年	2 年生	年間授業時数	35 時間	学 期	前期		後期		通年	☐
【授業目標】 税の基礎知識を理解する。 所得税と法人税の基本的事項を理解する。										
【到達目標】 ・ 経理担当者または経理事務員として必要な税の基本的知識を身につける。 ・ 所得税の計算や青色申告、確定申告に必要な基礎的な知識や算出ができる。										
【授業計画】 1 税の基礎知識（税の種類） 2 税の基礎知識（税の役割） 3 所得税（概要及びその計算方法） 4 // （利子所得・配当所得） 5 // （不動産所得・事業所得） 6 // （給与所得・退職所得） 7 // （山林所得・譲渡所得） 8 // （一時所得・雑所得） 9 // （非課税所得） 10 // （源泉徴収制度） 11 // （課税標準） 12 // （所得控除Ⅰ） 13 // （所得控除Ⅱ） 14 // （課税所得金額） 15 // （納付税額） 16 // （青色申告制度） 17 法人税（法人税の概要） 18 // （所得の金額の計算） 19 // （損金） 20 // （租税公課・減価償却） 21 // （繰延資産・貸倒引当金） 22 // （同族会社・役員に対する給与等） 23 // （税額の計算） 24 // （寄付金） 25 // （交際費等） 26 // （資産の評価） 27 // （益金） 28 // （申告手続き） 29 給与所得者と税 30 確定申告制度										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 定期考査 25点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 25点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ 令和7年版 演習所得税法（清文社） ・ 令和7年版 演習法人税法（清文社）										

岡山商科大学専門学校 2025年度授業シラバス										
対象学科	トラベル観光、まんが・ネットショップ、事務職養成 学科			授業科目	卒業研究					
氏 名	林 則博			授業の方法	演習		単位数	4		
実務経験	☒ 有	☐ 無	旅行代理店で、添乗、ツアープラン等を職務として勤務し、旅行業界全般に関する実務経験を積んだ。							
対象学年	2 年生	年間授業時数	70 時間	学 期	前期		後期		通年	☐
【授業目標】 ・課題を探究する。 ・自ら課題を設定する。 ・レポートにまとめる										
【到達目標】 ・自分で課題を設定する力が育成させる。 ・研究をまとめる力が育成される。										
【授業計画】 1 カリキュラムマップの学習 2 課題を設定する。 3 研究を進める。 4 研究をまとめる。 5 レポートにまとめる。										
【授業評価方法・注意】 本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ① 課題 40点 ② 出席 30点（30×出席率） ③ 提出物 10点 ④ 学習状況 20点										
【教科書等】 ・ なし										